

第3学年商業科 シラバス（家庭）科

愛媛県立大洲高等学校

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	3	類型	商業科
単位数	2	教科書	高等学校家庭総合 ともに生きる・持続可能な未来をつくる	出版社	第一学習社		
副教材	家庭科ノート、調理ノート基礎編						

学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

授業の概要

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住の生活の科学と文化、持続可能な消費生活・環境、ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動に関する知識と技能を習得させ、家庭や地域の生活課題を解決するとともに、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を育てます。また、学習内容に応じて実験・実習を行い、一斉指導、個別指導、グループ指導を行い、視聴覚教材も多く活用します。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解と、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。
評価の対象	・定期考査 ・ワークシート ・授業時の観察 など	・定期考査 ・ワークシート ・課題（レポート・作品など） ・授業時の観察 など	・ワークシート（振り返りなど） ・課題（レポート・作品など） ・授業時の観察 など
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1 学期	5章 食生活をつくる 1節 人の一生と 食事 2節 栄養と食品	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を取り巻く環境が変化している現状を理解し、食生活を取り巻く課題、食の安全と衛生、日本と世界の食文化など、食と人との関わりについて理解する。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴、食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに、自己と家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 	
	ホームプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の課題を設定し、解決法を考え、計画を立てて実践する。 	1学期 期末考査
2 学期	5章 食生活をつくる 3節 食生活の安全のために 2節 食生活をデザインする	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質、食品衛生について科学的に理解し、目的に応じたちょうりに必要な技能を身に付ける。 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康及び環境に配慮した自己と家族の食事、日本の食文化の継承・創造について考察し、工夫する。 	
3 学期	8章 経済生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や責任ある消費の重要性について理解を深めるとともに、生活情報の収集・整理が適切にできる。 	